

海外医療研修コース特論・演習

Integrated International Student Exchange Program

薬：L1-24613MY

コース科目 6年／前期 1.5単位 選択必修科目

科目責任者 赤沢 学(公衆衛生・疫学研究室)

■教育目的

カナダ・アルバータ大学薬学部、イギリス・ハートフォードシャー大学薬学部、タイ・チュラーロンコーン大学薬学部、タイ・マヒドン大学薬学部など他国の医療制度、薬学教育や薬剤師の役割(薬局業務、病院業務)などについて、研修で習得したことをもとに、日本との違いを比較検討する。【卒業認定・学位授与：YD-⑤、YD-⑥】

■学習到達目標

1. 海外の薬学生に日本の医療制度、薬剤師の役割、薬剤師教育を説明できる(知識、技能)。
2. 海外での実習経験を生かして、日本の薬剤師のあるべき姿を議論する(知識、技能)。
3. 将来のキャリア選択に、海外留学経験を生かす(態度)。

■準備学習(予習・復習)

予習：英語検定など継続的に英語学習を続ける(10時間以上)。

復習：語学力と海外留学の経験を生かして、キャリア選択を考える。

■授業形態

グループワーク、プレゼンテーション、講義

■授業内容

- カナダ、イギリス、タイの薬剤師の役割(地域医療、病院)などについて、日本と比較検討する。
- 提携大学の留学生らに、日本の薬学教育、医療における薬剤師の業務などについて説明する。
- 提携大学の教員による講義・ワークショップ等に参加し、海外における薬学最新情報の習得に努める。
- 国際保健分野で活躍する医療関係者の体験談を聞き、薬剤師のキャリア選択の一つとして考える。

SBOコード：A(5)-①-1～5、A(5)-②-1～2、A(5)-③-1～2、A(5)-④-1～2

■授業分担者

赤沢 学(責任者)、樋口 和宏、酒井 良子、櫛山 暁史、前田 英紀、学外講師

■課題(レポート、試験等)のフィードバック及び成績評価方法

語学検定の成績(30%)並びにワークショップやセミナーなどの出席・レポート(70%)で総合評価を行う。

■教科書

必要に応じてプリントを配布する。

■参考書

特に指定なし。